

慶應義塾大学 SFC 研究所

xSDG・ラボ

xSDG コンソーシアム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



xSDG コンソーシアム 2024年度 研究プロポーザル

慶應義塾大学 SFC 研究所では、持続可能な社会を実現し、多様で複雑な社会における問題解決を行うため、2017年10月に xSDG・ラボ(エックスエスディージーラボ)、2018年6月に「xSDG コンソーシアム」を設立しました。スタートアップとしての第1期研究期間(2018 - 2020年度)に続き、SDGsの折り返し地点でもある第2期研究期間(2021-2023年度)を経て、第3期研究期間(2024-2026年度)の初年度となる2024年度は、具体的なアクションとともに、さらに加速度を増してSDGsへ向かう世界をけん引したいと考えています。今まで以上に未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間である企業や自治体といったステークホルダーのみなさまと研究者とのコラボレーションにより、SDGs目標達成へむけた先進事例や優良事例を作り、これを日本から世界に発信し、スケールアップを実践します。

※ xSDG コンソーシアムでは、未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間を「Vision Sharing Partner(VSP)」(会員)と呼称します。

SDGs達成へ向けたアクションの優良事例の創出と行動基準づくりを行い、これを通じた知識と実践の基盤を構築する

■活動内容

① **コンソーシアム・ミーティングで、アイデアの創発**
全体会合となる「コンソーシアム・ミーティング」において、毎回テーマに沿った有識者による専門的知識の提供や、関係省庁関係者による最新の政策動向を基にした議論・意見交換・ワークショップ等の実施を通じて、SDGs的アクションのあり方を検討します。結果に応じて、課題別分科会を創出します。また、SDGsの国際動向や国内実施、指標、政策の動き等に関する情報提供、情報交換を行います

※社会状況に応じて、交流会(レセプション形式)の設定も検討してまいります

② **Action Oriented Project (AOP) を通じた具体的なアクションの実現へ**

これまで分科会の活動を通し、個別課題を掘り下げた検討や課題解決につながるアクションの模索を続けてきました。今期からはそこからさらに一歩踏み出す形で、具体的な研究プロジェクトへの参加を通して、アイデアを具体的なアクションへと移していくフェーズに進みます。AOPは具体的なアクションで協働する「場」というイメージです。

今期は以下のAOPの実施を予定しておりますが、VSPからのご提案をオープンに検討したいと思っておりますので、積極的なご提案をお願いします

- シナジーとトレードオフ プロジェクト
- 未来財務情報×SDGsガイドライン プロジェクト
- SDGs Today Japan プロジェクト
- ヘルスコモンズ プロジェクト

③ **勉強会を通じた最新情報の提供**

SDGsに関連する国内、国際動向に合わせた最新情報をより多く提供できるよう、専門家を招いた「勉強会」を開催いたします。毎回SDGsに関連する個別のテーマをピックアップし、最新情報を学び、その先を議論できる機会を設けたいと考えております。

④ **企業と地方自治体、関係省庁と NGO/NPO とのコラボレーション創出**

コンソーシアム・ミーティングやAOPに、企業と地方自治体、オブザーバーとして関係省庁や NGO/NPO が参加することで、パートナーシップ(目標17)による目標達成を実装します

想定されるパートナーシップ

- 内閣府地方創生推進事務局「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」と連携し、官民マッチング後の課題検討を深掘りし、実態を伴うプロジェクトを創出
- 蟹江憲史が研究代表を務める、具体的な既存の研究プロジェクトに成果をインプット

⑤ **コンソーシアム相談会の開催**

アクション創出へ向けたアドバイスの実施をいたします

※ VSP-S(S会員)およびVSP-D(D会員)が対象

⑥ **シンポジウム等の開催**

※ VSP-S(S会員)が対象

⑦ **年次報告会の開催**

⑧ **年次報告書の公表**

⑨ **「SDGs白書」の刊行**

⑩ **その他の媒体による発信**

例；朝日新聞未来メディア2030での発信、など

以上に加え、学生との協働(寄附講座設置(別途お申し込み)、授業との連動など)の機会も検討いたします。

なお、本ラボの活動にご参加いただいた場合、SFC研究所ヘルス・ランニングデザイン・ラボ(代表：蟹江憲史 <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/rldlab/>)の一部活動にご案内いたします

※全研究期間を通じた活動による

■成果（予定）

- ・年次報告会の開催（VSP-S（S会員）およびVSP-D（D会員）、VSP-LG（自治体会員）による報告、など）
- ・年次報告書の発行（メンバー、VSP-S（S会員）およびVSP-D（D会員）、VSP-LG（自治体会員）を中心に分担執筆）
- ・「SDGs白書」の刊行（メンバー、VSP-S（S会員）およびVSP-D（D会員）、VSP-LG（自治体会員）を中心に分担執筆）
 - 優良事例を中心に「SDGsのいま」を発信
 - 「SDGs的出版」を予定（協力：インプレスR&D社）
- ・各AOPによる成果
 - 分野別SDGsガイドライン
 - SDGs的認証基準
 - 分野別ターゲット など
- ・国連による「持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム（High-level Political Forum on Sustainable Development；HLPF）における、xSDG・ラボおよびxSDGコンソーシアム主催による公開イベントをニューヨークで開催
- ・シンポジウム等の開催（VSP-S（S会員）による）
※全研究期間を通じた活動による



■研究期間

第3期研究期間：2024年4月 - 2027年3月

2024年度研究期間：2024年4月 - 2025年3月

■2024年度活動計画（予定）

- ・コンソーシアム・ミーティング
 - 年3回程度開催
- ・年次報告会
 - 年1回開催
- ・「年次報告書」発行
- ・コンソーシアム相談会開催
- ・Action Oriented Project (AOP) 活動
- ・勉強会
- ・デジタル・プラットフォームの提供
 - 会員メーリングリストへのご参加
 - ニュースレターの配信による電子媒体での情報提供
- ・外部イベント（シンポジウム等）への参加

■対象となるVSP（会員）

- ・慶應義塾大学SFC研究所との連携により、SDGsの優良事例創出を考える企業、組織団体
- ・慶應義塾大学SFC研究所との連携により、SDGsの優良事例創出を考える自治体

■Vision Sharing Partner 制度（会員制度）

xSDGコンソーシアムは、SFC研究コンソーシアム*として実施される共同研究（年会費制）の一種です。xSDGコンソーシアムでは、未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間として、会員の呼称を「Vision Sharing Partner(VSP)」としています。詳細は、事務局までお問い合わせください。

* <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/consortium/xsdgc/>

これまでのxSDGコンソーシアムVision Sharing Partnerにつきましては、下記URLをご参照ください

https://xsdg.jp/activity.html#xsdg_consortium



■ xSDG・ラボとの共同研究

企業や自治体のみなさまと、個別の課題に応じたテーラーメイドの活動として、共同研究を推進しています。

- 日本版 SDGs の指標検討及び GIS を活用した指標の可視化（国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社、2018 年度 -）
- 中小企業のための SDGs ガイドラインの作成（第一生命保険株式会社、2022 年度 -）
- 中小企業を念頭に置いた SDGs 認証制度の構築と社会実装（株式会社 MSS、2023 年度）
- SDGs の視点からみた都市ガスインフラ（導管を中心）の役割・貢献に関わる研究（東京ガス株式会社、2021 年度）
- スマートエネルギーネットワークの構築による SDGs への貢献についての研究（東京ガス株式会社、2020 年度）
- SDGs 達成の進捗管理に関する手法・検討調査（神奈川県、2020 - 2021 年度）
- 「サステナブルな買い物」の実現に向けた商品選定基準の策定（楽天株式会社、2019 - 2020 年度）
- 感じ良い社会の実現に向けた SDGs の戦略的実現モデルの創出（株式会社良品計画、2018 - 2019 年度）
- 金融アセスメントフレームワークツールを使用した実装モデルの構築（株式会社 TREE、2018 - 2019 年度）
- 静岡市政への SDGs 組込に関する共同研究（静岡市、2018 - 2019 年度）
- 地域研究（持続可能な地域づくりに向けた分析と実践）（豊岡市、2018 - 2019 年度）
- 地方自治体政策検証（豊岡市におけるジェンダー課題）（豊岡市、2018 年度）

■ xSDG・ラボとの寄附講座

- SDGs と金融（シティグループ証券株式会社、2020 年度 -）

お問い合わせ

慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ事務局

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

E-mail:xsdg@sfc.keio.ac.jp

URL : <https://xsdg.jp/>

※記載内容は変更が生じる場合もございます（20240401）

■慶應義塾大学メンバー

代表、統括

蟹江 憲史
(政策・メディア研究科教授)

植原 啓介
(環境情報学部教授)

加藤 文俊
(政策・メディア研究科委員、環境情報学部教授)

川久保 俊
(理工学部システムデザイン工学科 准教授)

カン ソンウ
(政策・メディア研究科特任助教)

国谷 裕子
(慶應義塾大学特別招聘教授)

佐久間 信哉
(SFC 研究所 上席所員)

高木 超
(政策・メディア研究科特任助教)

田中 浩也
(環境情報学部教授)

玉村 雅敏
(総合政策学部教授)

古谷 知之
(総合政策学部教授)

村井 純
(慶應義塾大学教授)

森田 香菜子
(経済学部 准教授)

(アドバイザー)

川廷 昌弘
(グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン SDGs タスクフォースリーダー)

竹本 和彦
(東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授、SDSN Japan 事務局長)

平本 督太郎
(金沢工業大学 准教授・SDGs 推進センター長)

森平 爽一郎
(慶應義塾大学 名誉教授)

カトラミーズ ターレク
(芝浦工業大学システム理工学部 環境システム学科教授)

関係省庁

